

- | | |
|--|----|
| 1. 唯一神ヤハウエ信仰。選民思想や厳格な律法主義が特徴の民族宗教。 | 1 |
| 2. キリスト教の母体となった、『旧約聖書』の世界やユダヤ教の思想。関連語：ヘレニズム | 2 |
| 3. BOOK ユダヤ教の聖典。後のキリスト教、イスラーム教でも。語義：神と人間との古い契約の書 | 3 |
| 4. B.C.13世紀、ヘブライ人の預言者。「出エジプト」の指導者。 | 4 |
| 5. モーセが率いてヘブライ人を圧政のエジプトから脱出させた出来事。 | 5 |
| 6. ユダヤ教の唯一神。後のキリスト教やイスラーム教と共通。 | 6 |
| 7. モーセが唯一神ヤハウエから授かった命令。律法の中心に。 | 7 |
| 8. ヘブライ語の「律法」。 | 8 |
| 9. ヘブライ（ユダヤ、イスラエル）人は神に選ばれた民族とする思想。 | 9 |
| 10. 神の言葉を預かりし者。神に選ばれ、神の意志を伝える者。『旧約聖書』のイザヤ、エゼキエル、エレミアやモーセなど。 | 10 |
| 11. 人類世界が迎える最後の出来事についての教え。 | 11 |
| 12. ヘブライ人が祖国を滅ぼした新バビロニアのネブカドネザル2世により、都バビロンに強制移住させられた出来事。 | 12 |
| 13. ヘブライ語の「救世主」。語源：王に即位するような「油を注がれた者」。ここでの王は精神世界の王。ギリシア語のキリスト。英語のクライスト。別の英語メサイア Messiah 「救世主」の語源 | 13 |
| 14. PERSON B.C.1世紀・A.D.1世紀、ヘブライ人で神の子・聖霊？ キリスト教の開祖。 | 14 |
| 15. PERSON イエスにバプテスマ「洗礼」を施した預言者。ヨルダン川のほとりで罪の悔い改めを説いていた。 | 15 |
| 16. イエスの教え（特に神の国の到来や救いについて）や生涯。語義：「よろこばしい知らせ」。 | 16 |
| 17. ユダヤ教の一派で、形式主義の律法尊重に陥ったパリサイ派の人々。 | 17 |
| 18. イエスを処刑した刑罰。後に、その苦しみと引きかえに全ての人間の原罪を贖った（償った）イエスの愛の象徴とされる。 | 18 |
| 19. 十字架刑死の三日後、イエスが復活したこと。この奇跡を信じた人々の間にイエスをメシアとするキリスト教が成立。 | 19 |

T.Q. 「ユダヤ教の成立事情とその内容とは？」

T.A.

「出エジプト」や「バビロン捕囚」などの民族的受難を受けたヘブライ人には、モーセが授かった「十戒」を中心とする律法（トーラー）を守れば、神は私たちだけを救済するという選民思想をはじめ、終末思想やメシア（救世主）待望の考え方が生まれた。これがユダヤ教の基本的な思想となった。